

## ◆10月12日演奏曲

### J.S. バッハ (1685-1750)

トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565

アリア ニ長調 BWV 1068-2

### L. ヴィエルヌ (1870-1937)

ウェストミンスターの鐘 op. 54-6

## ◆プロフィール

### オルガン/ジャン＝フィリップ・メルカールト Jean-Philippe MERCKAERT

ベルギー生まれ。パリ国立高等音楽院でオルガンをオリヴィエ・ラトリー、ミシェル・ブヴァールに師事し、2005年プルミエ・プリを得て卒業。ベルギーではブリュッセルのベルギー王立音楽院にてジャン・フェラーにオルガンを師事し、2008年修士号を取得。モンス王立音楽院にてクラシック作曲法を学び、2007年修士号を取得。2007年、フライベルクにおけるジルバーマン国際オルガンコンクール第2位、2009年、ブルージュ国際古楽コンクールオルガン部門第2位受賞。2003年から1年間札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト、2011～14年まで所沢市民文化センター ミューズ ホールオルガニストを務めた。現在、那須野が原ハーモニーホールオルガニスト、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師、片倉キリストの教会オルガン教室講師。近年、オーケストラ曲の編曲にも力を入れており、様々な演奏会で好評を得ている。CDは「ヨハン・ゼバスティアン・バッハ ライプツィヒ手稿からのコラール集(2枚組)」(スイス)、「フランク、ドビュッシー、サン＝サーンス オルガン編曲集」(パリ)、「シャルル＝マリー・ヴィドール オルガン交響曲 第5番」(那須野が原ハーモニーホール)をリリース。2023年4月より、東京芸術劇場オルガニストに就任。